



心踊る、文化咲く——
第41回 国民文化祭 第26回 全国障害者芸術・文化祭
よさこい高知文化祭2026
令和8年10月25日(土)～12月6日(日)

2026年の10月から12にかけて、国内最大の文化の祭典「国民文化祭」が高知県全域で開催されます。日本絵手紙協会は、香美市の文化交流事業「絵手紙体験&絵手紙展」として2日間、地元絵手紙グループや県内の公認講師の皆さまにご協力いただき参加いたします。ぜひご家族やお知り合いのかたとお立ち寄りください。

【主催】文化庁、厚生労働省、高知県、よさこい高知文化祭2026高知実行委員会、香美市、日本絵手紙協会

絵手紙体験&絵手紙展

【開催日】

11月7日(土) 午前10時～午後5時

11月8日(日) 午前10時～午後4時

※入場・体験無料

【会場】

プラザ八王子 3階 多目的研修ホール

住所／高知県香美市土佐山田町262-1



プラザ八王子



2024年参加時の開催風景
(岐阜県可児市にて)

高知県香美市で
開催します

「絵手紙体験&絵手紙展」開催！ 11月7日(土)、8日(日)

国民文化祭とは……

1986年(昭和61)から続く、地域の文化資源等の特色を生かした文化の祭典。毎回開催地を変え、伝統芸能、音楽、美術などの各種芸術、食文化などを全国規模で発表する場であり、文化の継承と発展をめざす。

投稿 大募集

募集テーマ 絵手紙で伝える ①「ありがとう」②「おめでとう」

『月刊絵手紙』2027年3月号では、「絵手紙で大切なこと」を一冊に詰めた特集号を企画しています。コーナーのひとつとして絵手紙で伝える「ありがとう」「おめでとう」を募集します。いつも支えてくれるあの人へ、元気をくれるあの人へ、応援しているあの人へ、感謝や祝福の気持ちを、絵手紙で送りませんか？

・①、②どちらも1人1通まで。12月15日(火)必着。

・はがき、または巻紙。巻紙は長さ60cm以内(通常のひろば規定より長くしています)

*投稿の返却はできません。 *「特集 ありがとう・おめでとう」係まで。投稿の宛先は68頁を参照。

*定期購読者のみ。全員掲載ではありません。

秋の特別企画
オープン
スペースの
ご案内

浅草橋で会いましょう 絵手紙の輪！

会ってしゃべって
つながろう

初の試みとして一日限りのオープンスペースを開催します。講座でも絵手紙教室でもない新しい集いの場。この日、このときに集まった皆さんとの出会いを大切に、絵手紙のことなどアレコレおしゃべりしませんか？会場には絵手紙道具のご用意の他、拓本をスケッチできるミニコーナーも併設予定。下町歩きにもいい季節、ぜひお気軽にお立ち寄りください。

*参加無料・予約不要・どなたでも・飲食OK

日時：2026年10月14日(水) 午前10時30分～午後1時30分 時間内は出入り自由です

場所：東京・絵手紙ホール(日本絵手紙協会 東京事務局) *77頁地図参照



80 79 78 77 76 74 72 70 68 66 60
〈日本絵手紙協会からのお知らせ〉
〈受講生募集中〉講座のご案内
あなたの街の絵手紙情報(展・体験)
投稿の募集要項
小池邦夫絵手紙美術館ニュース
栄村国際絵手紙タイムカプセル館だより
日本絵手紙協会・推薦教材
ボランティア部からのお知らせ
日本絵手紙協会へのアクセス
「絵手紙友の会」からのお知らせ／編集後記
『月刊絵手紙』定期購読のご案内
ご注文方法

65 64 63
◎兼岩幸恵の小さくても一歩
懐かしい人たちがからの学び
◎前野郁子の実るように咲くように
あなたにとって大切なことは？
自分だけの畑、自分だけの実
◎通ったのしみ、学ばわくわく！
「絵手紙教室 講評拝見」
節氣を感じて「心踊る暮らし」
展示会のご案内

52 50 49 48 28 26 24 23 09 06 04 01 巻頭
もくじ
月刊絵手紙2026年10月号
古拙微笑
展示会をみる
登坂和雄の一語一絵(記)
新連載 絵手紙の女房が見た小池邦夫の素顔
特集 白隠さんの「線」をみる
中川 越のことばの旅
柳 宗悦の眼に学ぶ 白土慎太郎
書の脇道を歩いてみれば 中村信宏
読者投稿ひろば
テーマ「見てみて！育ったよ」
自由絵手紙／なんでも1000字／
新コーナーわが町だより／活動報告
山田喜代春の詩画世界
木もれ日「5年目のポツンと絵手紙展示会」 高橋タズ子
essay アーサー・ビナード
誌上レッスン 絵手紙教室
◎小池邦夫の絵手紙教室
「上につり上げて書いていたら線が黙っていない」



今月の「小池邦夫のことはカード」は
黙っているけど見つめ続けている

今月は禅画にも多く登場するダルマが出ました。達磨大師はインドから中国へ仏教を伝え、壁に向かって九年ものあいだ、座禅を続けたと言われています。

*毎月裏表紙でご紹介するカードは編集部で「今月号に合うカードは？」と思いながら引いた1枚です。



日本絵手紙協会の
公式ホームページ



公式Instagram
etegami_society



公式X(旧Twitter)
@Etegami_Society

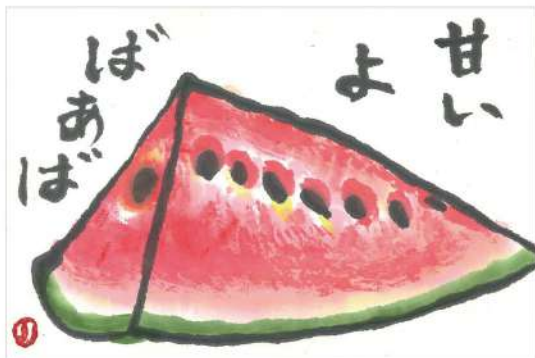


「蛤蛸観音図」 江戸時代 18世紀 早稲田大学會津八一記念博物館蔵 前期展示

特集 白隠さんの「線」をみる

江戸時代の禅僧・白隠^{はくいん}慧鶴^{えかく}といえば、力強い筆致で眼光鋭い「達磨」を思い浮かべる人も多いでしょう。もしくは腰蓑^{こしみの}ひとつの「すたすた坊主」の淡い墨色も印象的です。太い線、細い線、強い線、やわらかい線と自在な線に出会うことができる白隠さんの線をじっくりと見てみましょう。

協力・永青文庫、早稲田大学會津八一記念博物館



吉原良子(66歳・新潟)
初めて作った小玉西瓜。孫を呼んで一緒に収穫し、みんなで食べました。



山本千代(東京)
今年はわんさと育ったよ。花になった友と語らう。



荻澤尚子(東京)
畑栽培にはかなわないけど、虫に食べられながらも育ったよ。



江口直美(佐賀)
花が開く朝のうち、雌花に雄花の花粉をくっつけて、大事に見守りました。佐賀弁です。

読者投稿

かいて、送って、みんなでおしゃべり



ひろば

テーマ「見てみて! 育ったよ」

育てる喜び、見守る幸せ。愛情と感謝を込めて

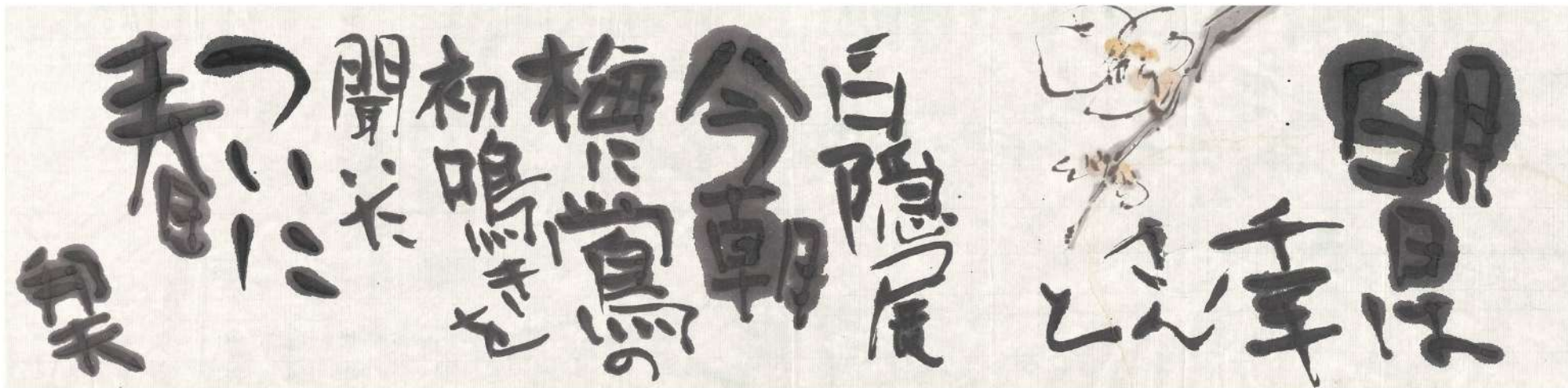
- ・自由絵手紙
- ・なんでも100字
- ・活動報告
- ・新コーナー わが町だより



今 敏子(青森)
息子のお土産、長崎のびわ。種を植えて24年目。平成15年(2003)に実をつけて以来の結実です。



河合智子(青森)
ベンジャミンの木の下で、コーヒーが飲めたらいいなと、小さな鉢植えの木を育てました。



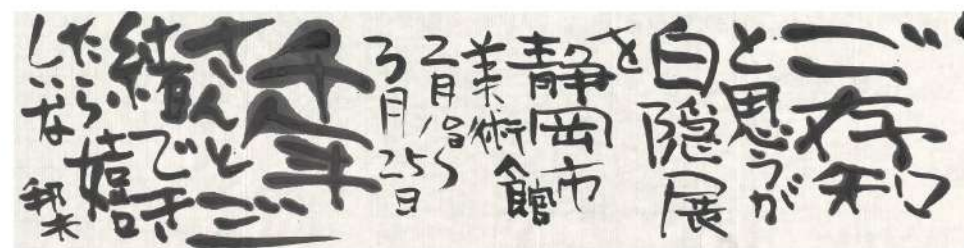
白隠展に行く前日の一枚。うぐいすの声に我を忘れて耳を傾けるという千年さんは、「小池も、この50年近くずっと、うぐいすの季節に絵手紙で感動体験を伝えてくる」と自著『遊走人語』に記している

2018年3月5日

明日は
千年さんと白隠展
今朝
梅に鶯の
初鳴きを聞いた
ついに春

邦夫

◎今回紹介の絵手紙を掲載した2018年9月号「この友 あればこそ」もぜひ再読ください。小池が心より敬愛し、絵手紙の受け手でもあった同郷の友人・正岡千年さんとの友情を特集しています



正岡千年さんに宛てた誘いの手紙

2018年2月18日

誌上レッスン

初心から学ぶ『ヘタでいい ヘタがいい』

絵手紙教室

月刊誌を使って好きな時に好きな場所で学んでいきましょう

こいけ・くにお

絵手紙の創始者。1941年(昭和16)愛媛県松山市生まれ。19歳より絵手紙をかき始め、「ヘタでいいヘタがいい」をモットーに絵手紙文化を広める。その活動が評価され、東京都狛江市初の名誉市民に選ばれるほか、文化庁長官表彰など受賞も多数。2023年8月31日82歳で永眠。